

消防署からのお知らせ

暖房器具からの火災にご用心！

暖房器具

燃料

石油

ガス

電気

種類

温風暖房器

ストーブ

こたつ

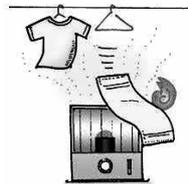
火災となる場合の例

- ・洗濯物がストーブの上に落下して発火！
- ・コードやスイッチが経年劣化によりショートして発火！
- ・寝返りなどによって、ふとんが電気ストーブにかかって発火！

※すぐに火の手は上がり、煙を吸い込んでしまう事で一酸化炭素中毒になり、重篤な事態に至るケースも！！

～火災を防ぐためには～

- ・暖房器具の周りには燃えやすいものを置かない！
- ・外出するときや寝る前は必ず火を消す！
- ・燃料補給時は必ず火を消し、燃料補給後は蓋をしっかりと閉める！



救命講習会の開催について

今年の救命講習会はすべて中止となりました。来年以降の救命講習会の開催について実施予定は未定となります。

講習会の詳細は平田分署へお問い合わせいただくか須賀川地方広域消防組合ホームページをご覧ください。

石川消防署平田分署 (☎ 0247-55-2213 FAX 0248-94-2079)

健康アドバイス

公立小野町地方総合病院

今回は、当院のリハビリテーションについてお知らせいたします。

今年4月からリハビリテーションの職員を4人増員し、理学療法士5人、作業療法士1人の6人体制となりました。職員の平均実務経験年数は10年以上と経験豊かな職員が在籍しているため、より充実したリハビリテーションの提供が可能となりました。

そして、当院では地域医療の中核施設としての役割をより一層果たすため、4月から地域包括ケア病床を開設しました。地域包括ケア病床でのリハビリテーションは、患者さん一人一人の日常生活をよく把握した上で、具体的かつ安全に退院先での生活が送れることを目標としています。そのために日々のリハビリテーションを通し、様々な提案や指導を行ない、在宅復帰に繋げようと努力しています。



また、外来での整形外科疾患のリハビリテーションも実施しております。リハビリテーションをご希望される方は、整形外科受診の際に医師にご相談ください。

外来リハビリテーション（整形外科）時間月曜日～木曜日 午前9時～12時
詳しくは、下記までお問い合わせください。

公立小野町地方総合病院 総務課 ☎ 0247-72-3181



総合健診のお知らせ

～年に1回の健診を受けましょう～
 今年の総合健診は、「完全予約制」で実施します。

新型コロナウイルス感染症の影響で日程が12月に変更になっています。また、密集を避けるために、受付時間ごとに受診人数を制限させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

メタボリックシンドローム

肥満が原因で心臓病や脳卒中が引き起こされ、仕事や生活に大きな影響を及ぼします。また、一緒に生活している子どもの肥満にも影響しており、子どもの将来の健康にも関係しています。

がん

生涯で2人に1人が発症するといわれています。しかし初期に発見し治療することで、生存率は高くなっています。

生活習慣病、がんの初期はほとんど自覚症状がありません。早期発見・早期治療が大切です。人生100年といわれる現代、健康であればこそ仕事や趣味も充実します。

健康でいるために、ぜひ総合健診を受けましょう。

村の健診の主な内容

詳しくは保健推進員が配付した案内をご覧ください。

・特定健康診査

40歳～74歳

国民健康保険加入者

・75歳以上健診

75歳以上で希望する方

・19歳～39歳の健診

職場や学校で受ける機会がない方

がん検診・各種検査

平田村に住所がある方全員が対象です。ただし、会社などで受けている場合は対象外となります。

・胃がん検診（バリウム検査）

40歳以上

・大腸がん検診

40歳以上

・肺がん検診（胸部レントゲン）

40歳以上

・前立腺がん検査（血液検査）

50歳以上男性

・肝炎ウイルス検査

19歳以上で過去に検査を受けていない方

・ピロリ菌検査

50～69歳以上で過去に受けていない方

【健診日程・場所】

日程	場所	
12月3日(木)	平田村 中央公民館 講堂	完全予約制 指定された時間に お越しください。
4日(金)		
6日(日)		



よくある健診に関する質問

社会保険扶養の家族はどうすればいいですか？村の総合健診で受けられますか？



答え

勤務先にご確認ください。
 加入する保険組合から届いた受診券、保険証があれば受診できます。なお、完全予約制ですので、村に必ずご連絡ください。

健康アドバイス

ひらた中央病院



坪倉 正治 医師

今月も新型コロナウイルスの基本的なことをおさらいしていきたいと思っています。

もし、あなたが他人と距離をとる必要が生じた場合、どのように時間を過ごすか、ストレスを発散するか、どうやって身体的・精神的健康を保つか、誰にサポートをお願いできるのかなどをあらかじめ考えておくことは大切です。

小さなことでも日課を持ち、携帯でもペットでも何でもつながりを持つこと、出来るだけ規則正しく睡眠と食事をとることを意識しましょう。

加えて、ウイルスに関するメディア報道に触れすぎると、それが精神的なダメージになることもあります。いつも最新の情報に触れることは大事ですが、ウイルスの報道に触れる時間と、それと全く関係無い時間のバランスもとても重要です。

問い合わせ：ひらた中央病院 ☎ 55-3333